

## PIANC（国際航路協会）

港湾・航路等の技術的課題に関する調査研究、開発途上国への技術援助など、幅広い活動を行う非政治的・非営利な国際機関。国連の諮問機関に指定。

人類の福祉のために、内陸港及び海洋港の航路、港湾施設の設計、建設、改良、維持及び運営に関する発展を図るとともに、沿岸地域の開発を図ることによって、水上交通の維持・発展を推進することを目的。

名称・設立	PIANC(国際航路協会)、1885年
本部	ベルギー・ブラッセル
加盟国・会員数	65カ国、約480法人、個人会員約2000名
日本の加盟状況	日本は政府会員(首席代表:須野原 豊 国土交通省港湾局長)、57法人、個人会員138名(平成20年3月31日現在)
会長・副会長・事務総長	会長:E.バン デ エーデ(ベルギー) 事務総長:L.バン シュケル(ベルギー) 副会長:4名 R.K.ジャイン(インド) 2005年5月-2009年5月 M.リタ(ポルトガル) 2006年5月-2010年5月 S.バトラ(アメリカ) 2007年5月-2011年5月 川嶋 康宏(日本) 2008年5月-2012年5月
日本からの歴代本部副会長	・大久保喜市(1988年～1992年) ・御巫清泰(1995年～1999年) ・野田節男(2001年～2005年)
主な活動	・国際航路会議(Congress)(4年毎開催) ・年次総会(AGA)(毎年・春開催) ・評議会(Council)(毎年・秋開催) ・研究活動:常設委員会の下、各種作業部会で実施

## PIANC-JAPAN（国際航路協会日本部会）

国際航路協会(PIANC)の日本支部で、国内のPIANC会員に対し、PIANCの活動に関する情報提供や、PIANC本部主催の各種ワーキンググループへの活動支援、刊行物の発行や配布などを行っている。

名称	PIANC Japan(国際航路協会日本部会)
会長・副会長	会長:川嶋康宏、副会長:金澤寛
会員	・日本部会の会員は57法人、個人会員138名(平成20年3月31日現在)
主な活動	・1908年の第11回会議(ロシア:サンクトペテルブルグ)より参加 ・1952年の閣議決定を経て、運輸省(現国土交通省)が政府会員としてPIANCに加盟して以来、日本はPIANC本部関係の会議や研究活動に積極的に参加してきた。なお1965年には水産庁が政府会員に追加加入している。 ・日本はアジアでは随一活発に活動。